

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年2月04日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部
留学（渡航）した時の学年	年生
帰国年月日	2023年01月08日
明治大学卒業予定年月	2025年03月
留学先大学について	
留学先国	フィリピン
留学先大学	フィリピン大学ディリマン校（日本語名） University of the Philippines Diliman（現地言語名）
現地使用言語/ 授業使用言語	フィリピン語/英語
留学期間	2022年9月～2023年1月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名（日本語）： （現地言語での名称）： <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他：
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他：
学年暦 記入例：1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期：3月～6月 2学期：8月～1月 3学期： 4学期：
学生数	23,360
創立年	1949年

留学費用 ※オンライン留学の為なし			
留学費用項目	現地通貨 ()	日本円	備考
授業料		円	
宿舍費		円	
食費		円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		円	
現地交通費		円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態：
渡航旅費		円	
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		0 円	

渡航関連 ※オンライン留学の為なし			
渡航経路			
往路 出発地：	目的地：	経由地：	
復路 出発地：	目的地：	経由地：	
渡航費用			
① 往復チケットを購入した場合 航空会社： 料金：			
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：			
航空券購入方法			
<input type="checkbox"/> 旅行代理店 (店名：)			
<input type="checkbox"/> インターネット (サイト名：)			
<input type="checkbox"/> その他 ()			

滞在形態関連 ※オンライン留学の為なし

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）

学生寮（寮の名前： ） アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋（同居人数 ）

3) 共有部分

バス トイレ キッチン（ 自炊可 自炊不可）

4) 住居を探した方法：

--	--

5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

--	--

現地情報 ※オンライン留学の為なし

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。（例：現地の病院、学内の診療所）

なし
 あり（治療を受けた場所： ）

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
（例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等）

なし
 あり（問題の内容や相談した人等： ）

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

--	--

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

（例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）

--	--

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？（例：現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）

--	--

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

--	--

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。（例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。）

--	--

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入）

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由：)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 履修の制限があった：	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Fil3: Conversation Filipino for Foreigners 1	外国人のためのフィリピン語会話 1
科目設置学部・研究科	Department of Filipino and Philippine Literature
履修期間	一学期間
単位数	3.0
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	LARANJO, RONEL
授業内容	週二回の授業のうち一回は、配布された資料を基に各自で新しい単元に取り組み、もう一回の授業はzoomでその単元の復習をします。約半年授業を行いました。英語で言うところのbe動詞までの学習でした。食べる・走るなどの表現は勉強していません。
試験・課題など	中間試験は筆記試験、口頭試験、ペアで即興で会話を行う試験を行い、期末試験はその3つの試験に加え2分間のプレゼンテーションの課題がありました
感想を自由記入	留学生は原則受ける必要がありましたが、全体の生徒数は8人ほどでそのうちの半分が日本人でした。生徒間にフィリピン語の能力に差があり、ペアワークで大変な時もありましたが、結果的に他の留学生と仲良くなるいい機会でした。中間試験の機関にコロナに感染してしまいましたが、先生が日程をずらすなど対応してくださいました。

履修した授業科目名（留学先大学言語）:	履修した授業科目名（日本語）:
tour110: Tourism Principles	観光原理
科目設置学部・研究科	Asian Institute of Tourism
履修期間	一学期間
単位数	3.0
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	ASUNCION, MARIA CRISTINA
授業内容	
試験・課題など	出席点として半年の間に三回エッセイを提出します。中間試験は筆記試験と一つのテーマに対して各々好きな SNS の媒体を用いて意見を述べる課題がありました。期末試験は同じく筆記試験と、フィリピンの観光地の中から一つ選び、その宣伝ポスターを制作する課題が課されました。どの課題も授業を受けていたら安心して臨めるものでした。
感想を自由記入	講義形式で生徒たちが発言することはほとんどありませんでした。しかしながら、新幹線など、時々日本について紹介されることがあり、そのたびに先生が私に話を振ってくださいました。授業外でもメールで気にかけてくださる優しい先生でした。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください（下記2以降は記入不要）
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません） ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 （例：留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。） ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL 受験
	10月～12月	明治大学内選考に出願
留学開始年	1月～3月	留学先大学に出願
	4月～7月	
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	中間試験
留学/帰国年	1月～3月	期末試験・留学終了
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

留学先を選ぶにあたって、行ったことがなく、英語以外の公用語があり、物価が安く生活費を押さえられるという点を大切にしました。さらにフィリピン大学ディリマン校は、日本語や日本に関する授業が豊富であることに加え、国内トップの大学なので、質の高い授業が受けられることを期待して志望しました。実際授業内容はとても満足感のあるものでしたし、生徒も授業の終了時に積極的に質問するなど、勉強熱心な様子がかげえ、オンラインながらも刺激を受けました。また留学生へのサポートも手厚く、特に困ることはありませんでした。

私の下調べ不足のせいですが、学内選考でフィリピン大学ディリマン校に内定した当時はフィリピンへ入国することは観光でも留学でも不可能でした。2月ごろから観光の規制が緩和し、日本人であればビザなしで滞在できる状況でしたが、7月の半ばに引き続きオンラインのみで授業を行う旨の連絡が来て、正式にオンライン留学が決まりました。

留学の醍醐味は現地で生活することであり、オンライン留学は私の本来の留学の目的からそれてしまいますが、これまで準備してきた時間を無駄にしたいくないため、オンライン留学を決断しました。また、当初は一年間留学する予定でしたが、残りの半期から対面授業が再開する確証がなかったため、半年に変更しました。現地に滞在しながらオンラインで授業を受けることも検討しましたが、国際日本学部のルールとして、オンライン留学の場合、必修の授業が免除にならないため、留学期間は明治大学の授業とフィリピン大学ディリマン校の授業どちらも履修しました。そして、フィリピン大学の授業は基本的に週二回行われるため明治大学の必修と被らないように時間割を組むことが難しく、結果的にもとより希望していた授業は取れず、科目数も2つとかなり少なくなってしまいました。そのため、感覚としては国際日本学部で言う type1 (全ての内容を英語で行う授業) を履修しているようなもので、授業の負担はあまりなかったです。

私からフィリピンや留学先での生活に関するアドバイスは出来ませんが、留学に行きたいという思いが少なからずある場合は、挑戦してみるのいいと思います。金銭面や就職に関して悩みがあるかと思いますが、身近な人はもちろん、大学の教授や事務室、キャリアセンター、留学の相談室の方など明治大学の制度を利用して多くのサポートを受けることができます。皆様とてもサポートティブですので、困ったときには頼ってみてください。